

## 島根県における高校生の性行動と 関連因子の検討

こう の よし え<sup>1)</sup> すず き けん たろう<sup>1)</sup> たか お なる ひさ<sup>1)</sup>  
 と だ とし こ<sup>1)</sup> ほそ だ しん じ<sup>2)</sup> ふじ たに あき こ<sup>3)</sup>  
 おお しろ ひとし<sup>4)</sup>  
 大 城 等

キーワード：高校生，性行動，精神健康

### 要 旨

島根県の高校生の性行動の実態を把握して、現状に即した生活指導・性教育に活かすために本研究を実施した。2003年～2004年に、研究の目的を説明し同意の得られた公立高校の生徒762名に、性行動に関する質問紙調査、精神健康度調査票12項目・日本版を行った。回答が有効であった602名（男子231名，女子371名）を分析対象とした。性交経験率は19.3%（116/602）で、全日制高校生の性交経験率は男子で1年生11.1%，2年生20.7%，3年生27.8%であり，女子は1年生9.8%，2年生24.0%，3年生43.1%であった。男子では，性交経験者は未経験者に比べて，飲酒・喫煙率が有意に高かった（ $p<0.001$ ）。女子では，性交経験者は，飲酒・喫煙率に加えて性被害経験率が有意に高かった（ $p<0.001$ ）。

今後，家庭・学校・地域・医療などが様々な立場から今の時代にふさわしい性教育を共に考え，行うことが重要であると考えられた。

### 1. 緒 言

近年，高校生の性交経験率が増加している。それに伴って10代の妊娠・人工妊娠中絶<sup>1)</sup>，性感染症<sup>2)</sup>の増加が問題となっている。

10代の妊娠や性感染症を防ぐには，高校生に対

して正しい知識や学生のニーズにあった生活指導・性教育の実践が必要である。しかし実際は高校において，性教育の方針は確立していないのが現状である。そこで島根県の高校生の性行動の実態を把握して，性行動が活発になっていく過程にはどのような因子が存在するのかを明らかにし，現状に即した生活指導・性教育に活かすために本研究を実施した。

Yoshie KONO et al.

1) 松江生協病院 2) 細田クリニック

3) 島根県保健環境科学研究所 4) 島根県雲南保健所

連絡先：〒690-8522 島根県松江市西津田8-8-8